

シイタケホダ場の手入れ等の実施状況

区分	生産者・住所 (間取り月日)	ホダ場の状況、作業実施内容、今後の予定など
内陸北部	鈴木長作 滝沢村字後 (8/2)	[ホダ場] 湿度が高い。刈払と古ホダ整理を実施。 [ハウス] 屋根の上にシェードを張り遮光 →腰高で 25℃くらいを維持。
	工藤正吉(8/2) 岩手町川口	ホダ場周囲の刈払。今秋の新ホダ搬入に備え、予定地を刈払。 裸地伏せでは笠木補充。 7月末の降雨前に予備散水。芽作り散水は8月末の予定。
	林業技術センター	ホダ場の湿度高く、当年植菌ホダ木でトリコデルマ発生。
内陸南部	小岩馨(8/2) 一関市巖美	ホダ場の湿度が高い。刈払し、ホダ場周囲の寒冷紗巻き上げた。 盆過ぎに散水する予定。
	岩淵謙一(8/2) 一関市大東町曾慶	林内：乾燥が心配なので刈払しない。今秋、ハウスからホダ木を入れる予定の場所は刈払中。 裸地伏せ：30℃を超え、雨が降らなければ散水する予定。芽作り散水は盆過ぎ予定。発生までに、雨と合わせて400ミリの水を与えたい。
	琴畑熊吉(8/2) 遠野市土淵町	裸地伏せ：遮光資材（シルバーポリトウ）で庇陰し、内部に散水しつつ、裾上げし、風を通して蒸れを防いでいる。 林内（生採り用 H21 植 465 形成駒）：数回の散水と被覆（シルバーポリトウ）で発生操作し、今年3回目の収穫。
沿岸南部	兼沢平也(8/2) 大槌町兼沢	林内：今春植菌ホダ木の展開が終了。温度、湿度高く、腐朽は順調。 ハウス：これまで月に2回×12時間程度散水（冷却と腐朽促進） 盆過ぎからホダ倒しの予定。芽作り散水は9月以降の予定。
沿岸北部	野崎泰司(8/4) 宮古市鶴磯	間もなく植菌終了。仮伏せは人工ホダ場、50-60cm 高さの棒積みでダイオシェードを掛け、散水している。 この後、人工ホダ場で補修、古ホダ整理、刈払予定。
	阿部剛史(8/2) 岩泉町中野	古ホダ木整理中。スギ下で草が少ないので刈払はしない。 今年は大雨が降ったので、ホダ木の水分状態は良好。 芽作り散水は盆過ぎの予定。
	正路正敏(8/2) 普代村鳥居	植菌・裸地伏せ後、山で棒積みしていたホダ木を、これから本伏せに移す。 芽作り散水、例年は今頃だが今年は暑い。ホダ木を乾かし気味にしておいて、実施は盆過ぎか？
	高屋敷幸雄(8/2) 洋野町種市	秋のホダ場整備（間伐）に備え、ホダ寄せ。 →ホダ木は高さ 90cm 以下の棒積みで雨を当てている。 乾燥が心配なので、刈払していない。 芽作り散水は8月末～9月初に、降雨状況を勘案して実施予定。 ※今芽を作らせても、暑さで流れる。